

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

F P

ライフデザイン白書は時代を映す鏡 少子高齢化・介護時代の家族像とは

東日本大震災から5年が過ぎた。日本の経済状況も政権も変わり、大学のライフデザイン学部新設も増えた。日本は「少子高齢化時代」に突入、その潮目の変わり目に翻弄されている。昨年、5年ぶりに『ライフデザイン白書 2015年』が発刊された。これは(株)第一生命保険研究所が20年間続刊しているライフデザインレポートの老舗。これまで生活者の意識と行動の変化を捉え続け、発刊20年目にしてインターネット調査に切り替えた。

地域住民の自治会やNPO、大学生等も参考書にする同書の魅力は、編集・構成の充実だろう。ライフデザインを形成する6つの領域一家族、地域、消費、就労、健康・介護、人生設計といった、人々が生活していくための基本的な分野を網羅している。調査対象は全国の満18～69歳の男女個人で、有効回答数7,256人だった。

就労について一職業能力に焦点を当て正社員対象で調査。「女性はキャリアアップに消極的」という結果が出た。すでに内閣府の有識者会議でも指摘されていて、先進国の中で日本女性は管理職への道に関心が薄いとされている。介護離職について一白書はいち早く「男性介護」のデータに着目し、結論は「不本意な働き方を減らさなければならぬ」としている。そのために人生設計が道半ばでどん挫しかねない。次は2020年のポスト・オリパラの変化だ。

税務会計

国税もクレジットカード納税がスタート インターネット利用のカード決済の納付

地方税ですでに実施されているクレジットカード納付制度が国税にも導入される。納付手段の多様化を図る観点から、これまでの納付方法に加え、「インターネットを利用したクレジットカード決済による納付」が加わることになった。適用は2017年1月4日以後に国税の納付を委託する場合から。

これは、2016年度税制改正で創設されたもの。納付書で納付できる国税を対象としており、基本的に税目に制限はない。クレジットカード納税は、パソコンやスマホでインターネットに接続し、専用サイト上でカード決済ができる仕組み。納税者がカード会社に納付手続きを委託し、カード会社がそれを受託した日に国税の納付があったものとみなして、延滞税や利子税等に関する規定が適用される。クレジットカードで税金を納めるメリットは少なくない。筆頭に挙げられるのが「時間が稼げる」こと。引き落としのタイミングが納期限より遅くなるため、資金繰りへの好影響が期待できる。インターネットを利用することで現金を持ち歩かなくてよいという安心感もしかり。またクレジットカードを利用することでポイントが貯まるという旨味もある。デメリットは、手数料が利用者(納税者)の負担となること。現行の地方税の取扱いと同じになるというが、東京都の場合、納税額1万円以下で78円、2万円以下で157円かかる。このほか、インターネット利用による情報の漏えいリスクも見逃せない。いずれにせよ自己責任になるため慎重な検討が必要だ。

今週のキーワード

ライフデザイン白書
 2015年

調査分析の責任者、同研究所の江崎正志専務取締役は「調査データを分析し深掘して、そこから何ができて、何が言えるのか」を焦点にしたという。就労、健康・介護等6領域すべてにコメントしている。家族では「娘が親になって支える祖父母」という分析だが、「娘が子どもの進路や教育資金で頼るのは実の親だ」というアドバイザー的役割を親に求めている。その親自身は老後について、住宅の相続に関心が薄く現金化を望む一といった別居・独立派希望が垣間見えている。